

# ●▲ みねのぶ



大豆刈取り作業(福良 弘司さん 10月18日)

■発行日/平成25年11月1日/No.1339号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務部 ■印刷/空知印刷株式会社

**食育**  
**峰延小学校で稲刈り・  
 脱穀の作業体験行**



使い慣れない鎌で稲刈り

9月20日、藤井忠一さんの圃場で峰延小学校の生徒を対象にした稲刈り作業の体験授業が行われ、同校の4年生、5年生、6年生の17名が参加し、当JAからは指導役として青年部員8名、女性部員2名が参加しました。

稲刈りは、6月6日に同校の生徒が田植えを行った「ななつぼし」で、例年通り青年部員と女性部員が、稲刈り作業、稲を束ねる作業、ハサ掛け作業を指導しました。稲



千石で脱穀のやり方を習う生徒

刈りでは慣れない鎌を使って手刈りをするため少し緊張した面持ちで作業をしていましたが時間が経つにつれ、みな夢中になって稲を刈っていました。稲束を作る作業はこつが必要のため繰返し青年部員や女性部員にやり方を習っていました。

10月10日、同校の生徒が約3週間前に刈取りを行いハサ掛けしてあった稲の脱穀作業体験が行われました。千石とミニ脱穀機の2種類の脱穀機を使った脱穀作業で青年部員が指導に当りました。特に千刃が人気で生徒の行列が出来ていました。

田中青年部長は、「同校の生徒には春の田植え作業から収穫作業を体験してもらい、作物を作る大変さと作物が育ち収穫する喜びを感じてもらい食の大切さを学んでもらえたと思う。」と話していました。

**第9回(10月定例)  
 理事会の開催について**

10月25日開催の第9回(10月定例)理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. JA全国監査機構監査の監査結果について
2. 内部監査規程の一部変更について
3. 持分の譲渡について
4. 持分の減口について
5. 理事に対する資金の貸付けについて

**一報徳一**

**「畜道は自然、人道は作爲」**

翁のことばに、人の卑しむところの畜道は天理自然の道である。尊ぶところの人道は、天理に従うのではあるが、一方

また作爲の道であつて、自然ではない。どうしてかといえ、雨に

は濡れ、日には照らされ、風には吹かれ、春には青草を食い、秋には木の実を食い、あれば飽くまで食い、なければ食わずにいる。これが自然の道でなくてなんだろう。一方、住まいを作つて風雨をしのご、蔵を作つて米穀を蓄え、衣服を作つて寒暑をささえ、四季を通して米を食うようなことが、作爲の道でなくてなんだろう。自然の道は万古すたれないが、作爲の道は怠ればすたれる。ところが世人は、その人作の道を天理自然の道と思ひ誤るために、願うことがならず、思うことがかなわず、ついにわが世は憂き世だなどというようになるのだ。およそ人道とは、草ぼうぼうの原野のうち、土地が良く肥えて草木が生い茂っているところを田畑として、ここには草が生えぬように願ひ、土地がやせて草木の繁茂しないところを草刈場として、ここには草が繁茂することを願うようなことだ。だからして、人道は作爲の道であつて自然の道ではなく、両者は遠く隔たっているという道理を見なければならぬ。

**大豆乾燥調製施設が操業開始**

峰樺3区にある大豆乾燥調製施設で本年産大豆の受け入れが10月6日から始まり同月9日から乾燥調製作業を始めました。

当JA管内の本年度の大豆作付は161畝で前年を上回る作付面積となっていて、本秋は昨年同様に雨天日が多く生産者の皆さんは大変苦勞をして刈取り作業を行いました。

当施設では検査を早期に終えるように乾燥調製に取り組んでいますが、収穫時期の断続的な降雨に



大豆乾燥調製施設内

より汚粒の発生が多く見られ、クリーナー処理をする必要があることから施設の操業日数が長引くと予想しています。



多目的倉庫内の大豆

**本年産大豆の検査行う**

10月22日、本年産大豆の最初の検査が行われました。検査は乾燥調製が済んだ一定量を、都度検査を行い、毎年3回から4回の検査となります。

22日は峰樺3区の農産物検査場所で工藤販売課長含む他部署の農産物検査資格を有する職員4名が検査に当り、8名の生産者の「ユキホマレ」1106俵を生産者が立会して行われました。

**平成26年1月から  
記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます**

平成26年1月からは、事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方について、記帳と帳簿書類の保存が必要となります。

なお、この記帳と帳簿書類の保存制度につきましては、所得税及び復興特別所得税の中告が必要ない方も対象となります。

詳細は、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) をご覧いただくか、岩見沢税務署 (電話0126-22-0810) までお問い合わせください。(お電話でお問い合わせの場合は、自動音声案内にしたがって「2」を選択後、所得税担当にお問い合わせください。)

(岩見沢税務署)



大豆検査の様子

**J A みねのぶ冬期営業時間 (平成25年11月1日～平成26年3月31日)**

	平日 (月曜～金曜)	土曜	日曜	祝日
本部事務所(ビル2階)	午前9時～午後5時		休み	
営農部事務所	//		//	
営農資材店舗	//		//	
精米所	// (毎週木曜日休み)		//	
ATM (現金自動預払機)	午前9時～午後6時	午前9時～午後5時		//
J A 生活店舗	午前9時30分～午後6時30分			
ホクレン峰延給油所	午前8時～午後7時		午前8時～午後6時	

【ご留意】\*金融窓口業務(貯金・共済・融資・出納)のうち貯金預払・共済掛金払込・貸出金償還等の現金を伴う業務は、平日(月曜～金曜)の午前9時から午後4時までです。

\*為替送金の取扱いは、平日(月曜～金曜)の午前9時から午後3時までです。

当JAの営業時間は、11月1日から来年3月31日までの期間、冬期営業時間に変更なり次の通り営業させていただきます。  
変わらぬご利用をいただきますようお待ち申し上げます。

**冬期営業時間に変更のお知らせ**

**交通安全の街頭啓発等行う**

美唄地区安全運転管理者協議会及び安全運転管理者美唄地区事業主会は、「美唄安管サーティ・チヤレンジ2013」を本年9月20日から実施していて、当J Aは10月11日から18日を「交通安全週間」と設定し、10月15日に街頭啓発活動等の取組みを実施しました。

この日は、二階事務所において職場全体朝礼で交通安全唱和を行い、その後職場内の交通安全宣言書の署名を取りまとめ、国道12号沿いのJ Aビル前で当J A職員が交通安全の旗を掲げて往來する車輛や通行人に対して交通安全の励



交通安全旗を振って街頭啓発

行を呼びかけました。

この取組は初めての取組で、同様の活動を美唄市内の企業がリレーで行われ、安全運転管理者制度の趣旨を実践行動で行い、職場内の安全運轉意識の高揚と無事故・無違反を徹底することで、地域社会で車輛を利用する一員として社会貢献に寄与し「交通事故のない安全で安心な美唄の実現」を目指すとしています。

**旧光珠内支所と**

**11号倉庫を取り壊す**

国道12号光珠内地区の拡幅に伴いJ A所有地の一部が買収になり、



旧光珠内支所の取り壊し

その上に建つ旧光珠内支所と国道を挟んで向かいに建つ11号倉庫を10月中旬に取り壊しました。

光珠内支所は、昭和40年11月に給油所と共に新築され、支所業務を廃止する平成9年まで使われましたが、以降は使われていませんでした。11号倉庫は昭和34年10月に米を収容する倉庫として新築され、築後54年を経過し当J Aが所有する倉庫の中では古い方で近年は営農資材倉庫として活用していました。



光珠内11号倉庫の取り壊し

平成26年1月からの記帳・帳簿等の保存義務化に対応しています

2014年 家の光 **家計簿** 日記付き

定価980円(税込)

12月号別冊付録

記帳・帳簿等の保存義務に対応



2014年

**お料理カレンダー**

365日

定価880円(税込)

1月号別冊付録

毎日野菜を350g! 健康レシピ集

記帳で守るわが家の家計  
健康な食事で笑顔の毎日





一緒にプレーする森川組合長

## 峰延年金友の会

### パークゴルフ大会開催

10月3日、峰延農協年金友の会井沢弘明会長)のパークゴルフ大会が三笠市パークゴルフ場「サン・パーク」(三笠市岡山)で開催されました。本大会は、7月4日に続き本年2回目の大会で、開催当日は前日まで雨降りが続き心配されましたが好天に恵まりました。

プレー開始に先立って井沢会長は「足腰を鍛えながら親睦を深め、プレーを頑張つてほしい」と述べ、続いて当JAの森川組合長の挨拶、競技の注意事項の説明が行われた後、参加者52名(男性35名、女性17名)は14組に分かれ3つのコースから一斉にスタート

しました。森川組合長もプレーに参加し親睦を深めました。優勝者は、男性は小川富義さん(光珠内老人クラブ)、女性は高田妙子さん(峰延長寿会)が優勝しました。また、ホールインワン賞は、井上九二さん(上美唄長生会)、佐藤洋子さん(中小屋長寿会)、斉藤捷子さん(光珠内長生きの会)、高田妙子さん(峰延長寿会)の4名でした。

### 米の作況指数、北海道3年連続 平年上回る(9月15日現在)

農林水産省が9月27日に発表した9月15日現在の本年産米の作況指数は、全国平均が2年連続で「やや良」102と発表しました。一部集中豪雨に見舞われた地域があつたものの、全国的におおむね天候に恵まれ10ヶ当りの予想収穫量は平成20年と並び過去10年で最高となる543kg/10ヶとなります。

北海道は3年連続で平年(100)を上回り「やや良」105となりました。作況指数は青森県と同じ全国最高値、予想収穫量は6万1300トで4年連続で全国1位となります。春先の低温で籾数がやや少なかつたが、その後、安定した天候で生育が進みました。

道内の主な作況指数は、南空知106、北空知104、石狩106、上川106、

渡島106、檜山106、後志106、胆振103、留萌106となつています。

作付面積と作柄状況を基に、主食用米の収穫量は824万5千トと予測され、農水省が7月に公表した需要見通しの786万トを38万5千ト上回る供給過剰となり米価の下落が懸念されています。

## 営農技術情報

### ◎秋播き小麦の雪腐防除

秋播き小麦の播種は、平年よりやや早く、生育は順調に推移しています。雪腐病の防除時期は、根雪直前の散布が最も効果的ですが、根雪初日は年によって大きく異なります。作業条件から見て、11月10日前後を目安に気象予報を確認し防除をしましょう。

また、降雨が多く、土壌が過湿状態となつていきますので、褐色雪腐病の対策を行いましょ。

### ◎圃場停滞水の排除

作業機械で踏み固められた枕地に水が停滞している圃場が散見されます。土壌が加湿状態になると生育不良となりますので、溝掘りを行い表面水を排除しましょう。

### ◎営農機械の格納・整備

①営農機械を点検整備し格納することは、使用年数の延長につながりコスト低減の効果がありますので、適切な保守点検を実施しましょう。

②機械の格納・点検では、まず外回りの水洗い後、水分・湿気を取り除き、動力部分のオイル注油、エアークリーナー・フィルターの清掃交換、冬期用軽油への切り替え、バッテリー充電等を行い、タイヤの空気圧を高めタイヤの下部に板を敷いて長期保管に備えます。

③コンバイン、乾燥機、糶摺り機、ライスグレーダー等に稲ワラ等のゴミが残っているとネズミの巣となり、ベルト・配線の耐用性が失われるため、清掃し必要部分には錆止めをしましょう。

④点検・整備に当たっては必ずエンジン停止し、事故の起こらないよう十分注意しましょう。

### ◎農薬の適正な保管

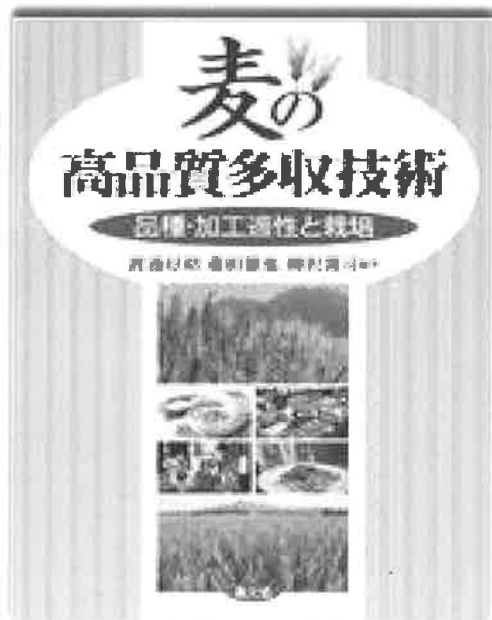
農繁期が終了し、未使用農薬については次の事項に留意して下さい。

①農薬は安全な場所及び専用の保管庫に入れ鍵をかける。  
②農薬を他の容器へ移し替えることは絶対にしない。

③ラベルに記載した注意事項を厳守する。

## 新刊書紹介

待望の『麦』の本！ ～栽培・品種・加工百科～  
 麦の民間流通時代を拓く『売れる麦』つくりの手引き書



書籍名：『麦の高品質多収技術』

定 価：2,730円(税込)

発行月：平成25年9月

サイズ・ページ数：A5版275頁

出 版：農文協

主な著者

- ・ 渡邊好昭(農研機構中央農業総合研究センター北陸農業研究センター北陸農業研究監)
- ・ 藤田雅也(農研機構九州沖縄農研センター)
- ・ 柳沢貴司(農研機構作物研究所)
- ・ 田引正(北農研センター)
- ・ 吉村康弘(北見農業試験場)
- ・ 佐久間良博(江別製粉常務)
- ・ 筒井一郎(ホクレン)
- ・ 佐藤導謙(佐藤技術士事務所・下川町)

以上含む25名の第一線研究者が執筆

## 概 要

◇「新たな麦政策大綱」は麦流通を一変

つくれば、買ってくれた政府買い入れ制度から「民間流通」へ移行し、「売れる麦」が求められる時代へ！

◇民間流通時代を拓く麦づくりとは？

①世界が驚く新品種の特徴を生かした高品質多収栽培。

②農家－製粉業者－加工業者－消費者ネットワークづくり。

◇品種・用途ごとに求められる技術を詳述

本書は、これからの日本の麦づくりを支える新品種ごとに、特性を引き出す高品質多収栽培法、そして各地で始まっている麦ブランド商品づくりを、全国第一線研究者が執筆

## 主な内容(目次)

●PART1：麦づくりがいよいよおもしろくなってきた

●PART2：麦 高品質・安定多収の手引き

●PART3：パン用、ラーメン用小麦は今や北海道から九州まで 全7品種掲載

〈ハルユタカ〉人気の春播き品種 初冬播き栽培による多収技術

〈ゆめちから〉初のブレンド用 超強力秋播き小麦

〈春よ恋〉引く手あまたのパン用小麦品種

●PART4：うどん用品種はASWを凌ぐ品質に到達 全7品種掲載

〈きたほなみ〉多収とめん色抜群 その品質はASWを凌ぐ

●PART5：健康機能性で人気沸騰 大麦品種ラインナップ 全4品種掲載

付録：麦関連用語解説

【書籍の注文先】JAみねのぶ営農推進課 TEL 67-2333

\*ご注文から当JAに届くまで1週間ほどかかります。